

今月の なかはな さん



とうもろこし
おいしいぞやね〜

草花が好きなおさん

梅雨入り前の暖かい日に なかはなの近くを散歩に出かけました。「天気が良くて気持ちがいいな。」
「私は足が悪いから外出は、病院と なかはな さんだけ...
やっぱり外はええわ、気分転換になったわ。」



イネ科 コバシソウ (小判草)

明治時代に渡来し観賞用に栽培され
ドライフラワー など用いられているそうぞう。



今月の なかはな さんを書いていますが私は利用者様の話をきくのが好きです。
今回は、昭和初期の宇治山田駅前についておききしたことを紹介します。
「今の宇治山田駅前昭和33年には、神都公会堂という建物があって、次に伊勢会館昭和28年
になって、次が今のたてもの、神都公会堂へは芝居小屋がきて、ようみにいったわ。
有名な古市なんとが人切りをめた賞えがある。幕まちの間、下りている幕の中が



知りたくて、子供だった私は花道をスタタタ〜と走ってこっそり覗き
に行っちゃったわ。「私は、公会堂の近くに住んでいて、よく友達とただで
入らせてもらってたわ。」芝居小屋には「オチャコサン」という人がいて、
お茶を出したり座布団をひいたり、ごみきさんには炭の入った手あぶりを
席に持って来て接待してたよ。」と教えて頂きました。

もう少し詳しく知りたくて伊勢図書館2階ふるさと文庫で
調べてきました。参考資料(伊勢市史第1巻民俗編)「オチャコサン」のこと

書いてありましたー感激、昭和初期の町の子供達は芝居小屋裏から
入って、芝居をみないで遊んだものだった。利用者様のことが
書かれてる〜興奮気味な私。たまたま通りがかった
友人に「何か楽しそう、何の本読んでんの?」と声をかけられ
ワクワクのおすそ分けをしました。今度は何をおききしようかな

